

# ● 病院における放射線部門の タスク・シフト／シェアの 取り組み

公益社団法人地域医療振興協会 飯塚市立病院 放射線室長 | 宮田憲明

法改正により診療放射線技師の業務範囲が拡大された。今回の業務拡大は、これからの診療放射線技師の発展のためには非常に重要である。業務拡大に対する当院の取り組みを報告したい。

The revision of the law has expanded the scope of work of radiological technologists. This expansion of work is very important for the future development of radiological technologists. I would like to report on our efforts to expand our business.

## ● 施設紹介

飯塚市は福岡県の中央部に位置する筑豊地方の中心都市である。当院は、病床数250(急性期一般150・地域包括ケア50・回復期リハビリテーション50)の2008年に開設された公立病院である。公益社団法人地域医療振興協会が飯塚市からの管理委託を受け、病院の運営・管理をおこなっている。放射線科は、地域医療に貢献すべくCT、MRIなどの先端の診断機器を近隣の開業医の方々へ開放している。

また、2021年には新型コロナウイルス重点医療機関に指定され、病棟の一部を感染症専用の病床に変更して中等症以上の患者の入院治療を担当するとともに、救急車搬入経路に隣接して発熱外来を設置し、感染症が疑われる患者を搬入の初期段階から隔離して、他の患者や職員の感染防止に努めている。2022年4月からは急性期機能の充実を目的として救急部を設置し、専従の救急専門医、看護師、

救急救命士を配置して救急患者の診療にあたっている。次年度は、地域医療支援病院の承認、病院ヘリポート建設による病院機能の拡充を目指している。わたしたち診療放射線技師は10名在籍、2交代体制を導入し初期診療から救急医療に携わっている。

## ● はじめに

第204回国会において「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が成立した。診療放射線技師が実施可能な業務範囲が拡大された。

- 1) 造影剤を使用した検査やRI検査のために静脈路を確保する行為、RI検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為
- 2) RI検査のためにRI検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為
- 3) 動脈路に造影剤注入装置を接続する行

為(動脈路確保のためのものを除く)、動脈に造影剤を投与するために造影剤注入装置を操作する行為

4) 下部消化管検査(CTコロノグラフィ検査を含む)のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為

5) 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為

6) 医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査

以上が診療放射線技師の新たな業務である。

## ● 静脈路確保背景

数年前までは放射線科医が2名在籍していたため当院の造影検査は、採血は看護師が採血室でおこない、造影検査時は再度、医師が静脈確保をおこなっていた。